



HOSPITALITY

SATISFACTION

PARTNERSHIP

INNOVATION

TASK

LIFE

病院・診療所のみなさまへ

城陽江尻病院だより 2026 年 7 月号

- 整形外科に新しい常勤医が赴任しました
- PNS（パートナーシップ・ナーシング・システム）導入による看護体制の変革

ほか

病院・診療所のみなさまへ

いつも当院をご利用くださり、誠にありがとうございます。7 月に入り本格的な夏を迎えましたが、連日の厳しい暑さにより、今年も全国的に熱中症患者の増加が懸念されております。また、夏の感染症にも注意が必要な時期です。新型コロナウイルス感染症は、これまでも夏休みの帰省や旅行などの人流増加に伴い、7 月から 8 月にかけて感染が拡大する傾向が見られました。ウイルスの変異（KP.3 など）による免疫逃避や感染力の変化など、引き続き最新の動向を注視し、対策を怠らないようにしていこうと考えております。これから夏本番に向けて、熱中症と感染症の双方への警戒が必要となりますが、当院といたしましては、引き続き皆さまと密に情報交換しながら協力し合い、地域医療を支えていければと考えておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。さて、当院の広報紙『城陽江尻病院だより』ですが、2026 年 7 月号ができあがりしました。今号の特集は、「整形外科に新しい常勤医が赴任しました」と「PNS（パートナーシップ・ナーシング・システム）導入による看護体制の変革」となっております。ご一読いただければ幸いです。

整形外科に新しい常勤医が赴任しました

2026 年 4 月より整形外科に赴任いたしました古賀 敬章と申します。当科では外来や入院での各種検査・手術・リハビリ加療などを行っております。

手術加療では、主に四肢の骨折などの治療を行っております。2026 年 4 月に手術ベッドを新調いたしました。清潔で新しい手術室での治療が受けられる体制となっております。当院では透析も行っておりますので、透析や腎不全の患者さまに骨折が生じた場合などもご紹介いただければと思います。

また、リハビリについてですが、整形外科の手術後の患者さまはもちろん、圧迫骨折などの保存療法の患者さまや、内科などで入院中の患者さまのリハビリにも力を入れております。安静からの体力や運動機能の回復を促し、退院後に生活がスムーズに行えるようにリハビリを行っております。

当科では、個々の患者さまにとってより良い治療法を患者さまやご家族さまと相談しながら行うように心がけております。今後とも地域の先生方のお役に立てるように日々努めて参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



PNS（パートナーシップ・ナーシング・システム） 導入による看護体制の変革

医療ニーズの多様化や超高齢社会の進展に伴い、急性期病棟における看護師の業務負担軽減と、質の高い看護ケアの安定的な提供は、多くの医療機関にとって共通の重要課題となっています。当院の3階東病棟においても、入退院の激しさや緊急入院・手術・処置といったイベントが重なる中、多重課題によるマンパワー不足や残業時間の増加が深刻化していました。時間に追われることで「患者さんの話をゆっくり聞く時間が取れない」「安全性の確保に不安を感じる」といったスタッフの心理的負担もあり、これらを根本から解決するための業務改善へと踏み切りました。

PNS と機能別看護の融合による新たなアプローチ

そこで当病棟が考案・導入したのが、「PNS（パートナーシップ・ナーシング・システム）」と「機能別看護」を組み合わせた新しい業務体制です。本取り組みでは、看護師が2人1組のペアとなって複数の患者さんを受け持ちます。さらに日々の業務を「バイタル係（測定、全身観察、記録）」と「処置係（保清、処置、検査・手術出し）」に明確に分担し、当日の勤務状況に応じて柔軟に役割を決定する体制を整えました。また、朝の繁忙期における点滴開始の遅れを防ぐため、PNSとは別に独立した「点滴係」を配置し、留置針交換やトラブルにも落ち着いて対応できる仕組みを構築しました。新人看護師に対しては、2人の先輩がペアで支える「フレッシュパートナー制」を導入し、指導時間の確保と若手の心理的安全性の向上を図りました。運用の過程では、定期的なアンケート調査を通じて「責任の所在」や「業務量の偏り」といった課題をその都度抽出し、対策を進めました。本取り組み当初は前日の夜勤リーダーがペアを決めていましたが、前日の日勤帯に複数人で決める方式に変更し、ペアの力量の均等化を図りました。

残業時間の8割削減と、看護の質への還元

この結果、劇的な成果が現れました。導入前に1か月平均343時間におよんでいた病棟全体の残業時間は、改善後に平均76時間となり、約8割の大幅な削減に成功したのです。業務の効率化と緊密なコミュニケーションによるダブルチェック体制の強化は、医療安全の向上をもたらしただけでなく、スタッフの心身の負担を大きく軽減しました。最終アンケートでは、病棟看護師の全員が「この病棟で勤務を続けたい」と回答するほど、健全で前向きな職場環境が確立されました。

最も大きな成果は、この改善によって生み出された「時間的余裕」が、患者さんへの直接的なケアの質へと還元された点です。ナースコールへの迅速な対応が可能となってクレームが減少したほか、退院調整において患者さんやご家族と十分な面談時間を確保できるようになり、個別性の高い丁寧な看護を実践できるようになりました。

当院は今後も、スタッフが豊かに働ける環境づくりを通じて、患者さんに選ばれ、地域の医療機関の先生方に安心してお任せいただける、安全で誠実な医療・看護を提供してまいります。

PNS

+

機能別看護



コミュニケーションの増加



情報共有の促進



心理的安全性の向上



スタッフ間の協力体制の強化



業務分担の明確化



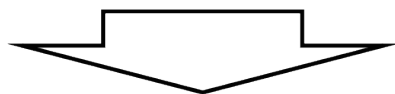
時間的余裕の確保



個別性に応じた丁寧なケアの実践



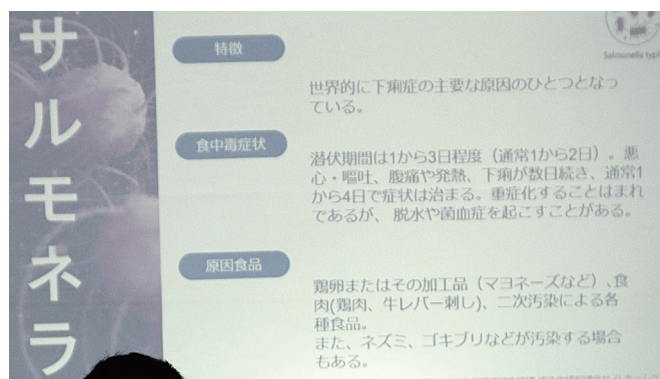
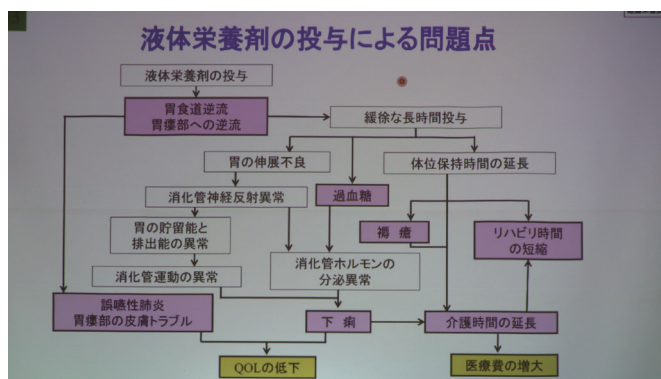
患者満足度の向上



**モチベーションの維持
働きやすい環境作り**



栄養管理全体研修、感染対策全体研修



(写真左) 2026年6月30日、栄養管理全体研修を行いました。今回は「経腸栄養法」がテーマで、経腸栄養法の利点や合併症、合併症発生時の対応や予防策などについて理解を深めることができました。入院患者さんには経腸栄養を行われている方が多くおられるので、実務にとっても役立つ内容でした。

(写真右) 2026年7月7日、感染対策全体研修を行いました。「食中毒」をテーマにした、原因微生物やその対策についての講義でした。対策については、手指衛生や調理器具の管理、環境・食品の管理を学ぶことができ、実務だけでなく、家庭でもすぐに役立てられる内容でした。

七タイイベント



2026年7月、療養病棟で七タイイベントを開催しました！患者さまやご家族、スタッフが短冊に願いを書いて笹に飾り付けたり、21日にはデイルームで体操やゲーム、合唱などをみんなで楽しんだりし、大いに盛り上がりました。笑顔と温かい願いごとに包まれた、季節を感じる楽しいひとときとなりました。

患者さまのご予約方法

入院・転院のご依頼
外来診療のご依頼
上部・下部消化管内視鏡のご依頼

➡ **079-225-1231**（地域連携課）にお電話ください。
担当医と調整の上、予約を入れさせていただきます。

CT・MRI・超音波・骨密度・マンモグラフィーのご依頼

➡ **079-225-1231**（放射線課）にお電話ください。

※ 受付時間は 8:30 ～ 19:00 となっております（日曜、祝日を除く）。

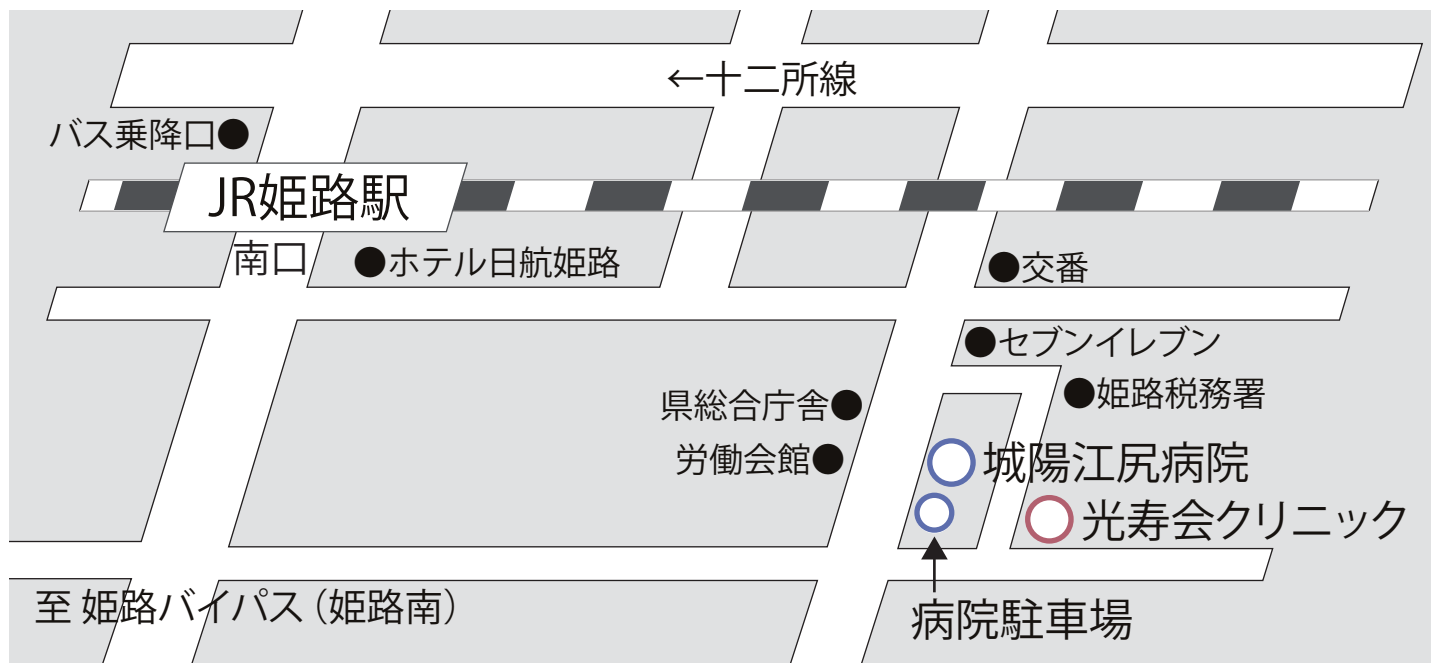
※ そのほかのお問い合わせは（地域連携課）にお電話ください。

ご予約後の流れ

患者さまに、以下のものをご持参いただくようお願いください。

貴院からの診療情報提供書（紹介状）
（CT・MRI をご依頼の場合は所見用紙）
マイナ保険証または資格確認証
当院受診歴のある方は、当院の診察券
（必要に応じて）貴院での血液検査結果、投薬情報

患者さまに、来院当日は1階総合受付にお越しいただくようお願いください。
スタッフがご案内いたします。



〒670-0947 兵庫県姫路市北条1丁目279
 ホームページ：www.ejirihospital.or.jp
 代表 Tel：079-225-1231
 Fax：079-222-0154



EJIRI HOSPITAL
 城陽江尻病院